

2020 年度野辺地町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町の農業は、偏東風（やませ）による夏季冷涼な気候でも品質・収量を維持できる「こかぶ」と「ながいも」が主な地域振興作物である。JAゆうき青森野辺地営農センターが取り扱う野菜類は、最近では10億円以上の販売額を達成しており、特にこかぶは、平成28年8月に「野辺地葉つきこかぶ」として地域団体商標へ登録となり、ブランド化され首都圏や関西方面で販売されている。

しかし近年、農業従事者の高齢化によって労働力が低下し、それに伴い作付面積の減少、生産量の減少へと繋がっている。農業を取り巻く環境は厳しさを増している。よって、農業従事者の高齢化による労働力低下、担い手不足の解消は大きな課題である。

このため、人・農地プランに基づき、農地中間管理事業等を活用した農地の利用集積を進めるとともに、集落営農組織などへの組織化や農作業の省力化、更には農業次世代人材投資事業等による新規就農者の確保が強く求められている。

また、農家所得の一層の向上を図るため、関係機関・団体と連携し、①野菜等の高収益作物への転換、②地域特産農作物の維持拡大、③農作物の高品質・安定生産の基礎となる、緑肥を組み入れた輪作体系等による健康な土づくりの実践等に向けた動きを加速させる必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

町内の約228.8ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、産地化に向けた取組を進め、作物生産の維持・拡大を図る。

（１）主食用米

県が設定する生産数量目標をベースに、野辺地町農業再生協議会が生産数量目標を設定しているが、需要動向や集荷業者等の意向を考慮しながら生産量を調整する。

また、産業用無人ヘリコプターを活用した共同防除などによる生産コスト低減のほか、関係機関との連携のもと、栽培・生産基準等に基づく適正栽培や健康な土づくり等による売れる米づくりを進めているが、販路の拡大も図りながら安定した稲作経営の確立を図る。

（２）非主食用米

ア 飼料用米
取組予定なし

イ 米粉用米
取組予定なし

ウ 新市場開拓用米
取組予定なし

エ WCS 用稲
取組予定なし

オ 加工用米
取組予定なし

カ 備蓄米
取組予定なし

(3) 麦、大豆、飼料作物

ア 麦、大豆
取組予定なし

イ 飼料作物

地域において需要があることから、農地の集積化等による生産コスト低減を推進するとともに、実需者である畜産農家と連携を取りながら作付面積の拡大を図る。

(4) そば、なたね

ア そば

当町のそばは品質が高く、実需者から一定の評価を受けている。また、不作付地の解消や荒廃農地の発生防止等、転作作物として重要な役割を担っている品目である。

国及び地域設定の産地交付金を活用し、これまで種子更新や排水対策、共同刈取、共同乾燥等の生産性向上及び収量増大に向けた取組を行ってきたが、新たな要件として、「ＪＡ等の指導で示される適正播種量を満たすこと」を加えることで、そばの成熟期における生育密度を上げ、台風・強風等による倒伏被害の予防や雑草抑制による刈取効率の向上を図り、収量の増大を目指していく。

また、上北地域県民局では、「上北そば」として上北圏域のそばを推進しており、中でも当町で生産される「にじゆたか」は高評価を受けている。今後も、実需者が求める高品質な「上北そば」の産地として維持・拡大していくため、産地交付金を活用して、そばの安定生産を目指していく。

イ なたね
取組予定なし

(5) 高収益作物（園芸作物等）

地域設定の産地交付金を活用して品質の向上に努め、地産地消による販売を通じて評価を高め、多くの振興作物について、こかぶのような新たな産地ブランド化を目指す。

特に、こかぶ、ながいもについては、定期的な土壌診断と堆肥施用による土づくりを徹底することにより、品質の向上に努めるとともに販路拡大を目指す。

(6) 畑地化の推進

取組予定なし

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	33.3	31.3	31.3
飼料用米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS 用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	0	0	0
飼料作物	4.68	5.29	5.29
そば	9.45	11.6	11.6
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	24.8	26.1	26.4
野菜	24.4	25.8	26.0
・こかぶ	15.0	15.5	15.5
・ながいも	3.8	5.4	5.4
・その他野菜	5.65	4.9	6.2
その他（雑穀）	0.4	0.3	0.4

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	こかぶ	こかぶ作付助成	作付面積	（2019 年度）15.0ha	（2020 年度）15.5ha
2	ながいも	ながいも作付助成	作付面積	（2019 年度）3.8ha	（2020 年度）5.4ha
3	そば	そばの収量増大 への取組助成	作付面積 取組面積（推計値） 10a あたりの平均収量	（2019 年度）9.45ha （2019 年度）5.17ha （2019 年度）90ka/10a	（2020 年度）11.6ha （2020 年度）11.6ha （2020 年度）66ka/10a
4	別紙の 振興作物助成	振興作物助成	作付面積	（2019 年度）6.05ha	（2020 年度）6.2ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり